

特殊雲台 活用事例



宇宙航空研究開発機構（JAXA）様からの

ご要望により特殊電動雲台システムの開発を行いました。地表面の反射を測定するセンサの前方にフィルタ／レンズのみを単独で回転させる構造を採用。

これにより、センサの視野を動かすことなくフィルタの角度を変化させながら砂漠地帯における太陽光の地表面反射率の角度依存性を長時間・連続かつ高精度に自動観測することが可能となりました。

このデータは、JAXAだけでなくNASAの温室効果ガス観測衛星チームとも共有し、衛星観測の校正に有効活用される予定で、宇宙からの観測精度の向上に貢献しています。

